

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73212	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)		在宅看護援助論Ⅱ（療養生活援助） (Health Promotion of Home Care NursingⅡ)			
担当教員名		清水 準一／川村 牧子			
授業の概要及び到達目標					
概要	自宅等の生活の場で療養している小児から高齢者、及びその家族への具体的な看護方法について学習する。当授業は2部構成になっており、前半は在宅で用いられる機会の多い医療処置・看護技術について学び、後半は事例を用いて看護過程演習を行う。				
到達目標	① 訪問看護に関連した制度や利用方法について説明できる。 ② 在宅看護における感染管理とリスクマネジメントの留意点について説明できる。 ③ 在宅看護において頻用される看護技術を理解し、自ら行うことができる。 ④ 在宅療養者と家族への看護過程を展開し、アセスメント、看護の必要性の判断、看護目標の設定、援助方法までを計画し、その一部を実施できる。 ⑤ 在宅療養者と家族の健康生活を支援している看護職の活動を支える組織等の管理体制について説明できる。				
準備学習等					
1. 本科目は統合的な位置付けにあり、在宅看護では年齢層、疾患・障がいの種類に限定されることがないため、既習科目および並行して学習する科目のほぼすべての内容を受けて行う。 2. 各回、事前課題を示すので、必ず予習をして授業に臨むこと					
成績評価の方法	小テスト 20%、事例検討 20%、定期試験 60%で評価する。				
テキスト	秋山正子他、系統看護学講座 在宅看護論 第5版、医学書院、2017				
参考図書	上田泉、在宅看護過程演習―アセスメント・統合・看護計画から実施・評価へ、クオリティケア、2015 正野逸子他、関連図で理解する在宅看護過程 第2版、メヂカルフレンド社、2018 萱間真美ほか編著、精神科訪問看護、中央法規、2015 田中道子ほか編著、小児・重症児者の訪問看護、2015				

	財団法人厚生労働統計協会、国民衛生の動向 2018/2019 財団法人厚生労働統計協会、国民の福祉と介護の動向 2018/2019 押川真喜子、写真でわかる訪問看護 アドバンス、インターメディカ、2016 椎名美恵子ほか監修、ナースのためのやさしくわかる訪問看護、ナツメ社、2018
備 考	① 本科目の単位取得は、老年・在宅看護学実習の履修前提条件である ② 各教員のオフィスアワーについては、デスクネットを参照のこと。
授 業 計 画	
第 1 回	在宅看護援助論Ⅱのガイダンス、訪問看護に係る制度
第 2 回	在宅における看護活動の実際
第 3 回	在宅看護における感染予防とリスクマネジメント
第 4 回	在宅における看護技術① 排泄の支援
第 5 回	在宅における看護技術② 在宅人工呼吸療法・在宅中心静脈栄養法
第 6 回	在宅における看護技術③ 呼吸ケア
第 7 回	在宅における看護技術④ 呼吸ケア（演習）
第 8 回	在宅療養をしている精神障がい者と家族への看護
第 9 回	在宅療養生活をしている小児と家族への看護
第 10 回	在宅療養者と家族への看護過程の展開
第 11 回	在宅療養者と家族への看護過程（事例演習①）
第 12 回	在宅療養者と家族への看護過程（事例演習②）
第 13 回	ケアマネジメントと在宅看護管理
第 14 回	訪問看護ロールプレイ演習
第 15 回	在宅看護のまとめ/授業評価